



まりや日記 vol.5



【出演者募集】町制施行60周年を記念したミュージックビデオへの出演者を募集します。応募資格は町内在住・在勤者の方。

○収録日8月22日(土) ○応募締め切り8月10日(月)

○問合せ まちづくり課産業振興係 TEL77-3918

※出演希望者には練習用DVD進呈。

※集合場所や時間などの詳細はお問い合わせください。

梅雨明けの待ち遠しい7月4日(土)午前10時—。町制施行60周年の今年、初めて芝山町で開催される県民の日山武地域行事が華やかにスタート。

メイン会場となった航空科学博物館の“しばやまスカイパークわくわくステージ”に、芝山町観光親善大使の永尾まりやさんが登場したのは、お昼の12時。永尾さんはあいさつに続いて開口一番「実は私、晴れ女なんです！」と声を張り上げ、会場内を沸かせました。

ステージではトークショーに続いて芝山町オリジナルソング“Wish”のダンスを初披露。「皆さん、ダンスを覚えて一緒にミュージックビデオに出演しましょう！」と呼びかけてくれました。

その後、スケジュールの合間を縫って会場内をゆっくりと視察した永尾さん。お気に入りの創作料理に舌鼓を打った後は笑顔で「古代米バウムクーヘン」の無料配布をお手伝い。午後3時からは「さんぶNo.1グランプリ」の表彰式でプレゼンターを務め上げ、イベントは無事に終了。

どんよりとした曇り空からは、火照りを冷ます優しい雨が降り始め、にぎわいの余韻残る会場をしっかりと包み込みました。

みんなで一緒に盛り上げましょう。

♪芝山町オリジナルソングが完成しました。

「Wish ~希望の足跡~」

歌唱：安田みずほ 作詞：吉村 祐 作曲：石井裕介

白い雲のように あの空駆けてゆく
小さな手を伸ばせば きっと叶う夢は

みんなの願い 遥か彼方へ
手をつないで行こう その先へと

その言葉を 信じれば 大空さえ飛べるはずさ
力を合わせて
歩き出した 町はいま この希望に満ちあふれて
未来は輝いているよ

長い旅の途中 つまずき迷ったときは
信じる心持てば きっと掴める夢は

つらいときも 悲しいときにも
涙を歌に変え 越えてゆこう

勇気の花 咲かせたら どんな道もひらくはずさ
力を合わせて
芽吹いてゆく この町を その笑顔で埋め尽くして
明日を迎えにゆくから

雨の日も向かい風の日も
ただ真っ直ぐに 前を見つめて 虹をかけよう

胸に秘めた 想いをいま 吹きはじめた風にのせて
心から歌うよ

その言葉を 信じれば 大空さえ飛べるはずさ
力を合わせて
走り出した 町はいま この希望に満ちあふれて
未来は輝いているよ

※楽曲は町ホームページで試聴できます。http://www.town.shibayama.lg.jp





知ってるつもり (115)

学芸員 奥住 淳

◆ 合併直後の芝山町

新町建設計画

昭和30（1955）年7月1日に二川村と千代田村の合併により誕生した芝山町では、その前日の6月30日付けで町村合併促進法の規定に基づき、千葉県へ新町建設計画を提出しました。計画では、基本方針として、①町村の規模を適正化し産業・教育・文化・政治・経済の効率的振興を促す②農業の振興と酪農の発展を図り、商工業を発展させる③生産物の出荷、教育文化の充実、交通網の整備に重点を置き住民福祉の増進を期する④町の位置地形等を勘案し、更にその適正化について、第二次合併の調査機関を設置することを掲げました。具体的には、出張所庁舎の改築、学校の改築、消防施設、直営診療所の新設、道路の改修、耕地整理や用排水整備などの事業が計画され、併せて合併から5年間の財政計画を作成しています。さらに、県へは電話通話区域の一本化、高谷

川の改修、土木出張所の所管の一本化を要望しました。

芝山町の誕生

合併当日の7月1日、旧二川村長の寺内元助氏を芝山町長職務執行者として、芝山町急施議会が開催されました。出席したのは両村の議員だった計37名で、議長に旧千代田村の小川義郎氏、副議長に旧二川村の川口幸一氏が指名されました。議案は、役場の位置、職員定数、特別職と職員の給与、税や手数料、国民健康保険、消防団、社会教育などの条例を定めるための36の議案が一括上程されました。これらの議案は、合併直前の6月28日に両村全員協議会において審議済みでしたので、全員賛成で可決されました。

一方、役場は旧二川村役場（小池1010番地）を本庁舎、旧千代田村役場を出張所とし、総務課13名、産業課7名、税務課9名、収入役室



二川村・千代田村合併に伴う事務引継書

1名の体制で業務が始まりました。

合併直後の町議会

昭和30年7月31日、初めての町長選挙が行われ、川口幸一氏が8月10日に初代芝山町長に就任しました。町議会は、合併から昭和31年2月29日まで旧両村議員が務め、翌3月1日より26名の新議員による体制となりました。

それでは、合併直後の町議会の議案を見てみましょう。昭和30年12月議会では、①国鉄バス路線の誘致②芝山中学校校舎増築工事③町議会議員選挙区条例について、昭和31年7

月議会では、①町税徴収計画協力②古墳保存③芝山町適正規模調査研究協議会委員選任について審議しています。これらの議案からは、限られた財政で、新町計画に盛り込まれた事業をいかに推進していくか審議していることが伺えます。その中で、昭和31年の殿塚・姫塚の発掘調査で多量の埴輪が出土して話題となったことにより、古墳（殿塚）を買い上げるのが決まりました。この発掘は、多くの町民が協力した新町初めての大事業となり、埴輪という町の象徴が誕生したことで、後のまちづくりにとって重要な出来事になりました。